

2014年4月18日

会員各位

チャデモ協議会  
会長 志賀 俊之

## チャデモ協議会第4回総会ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

本協議会の定時総会を以下のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

敬具

### 記

1. 日 時:2014年5月20日(火) 午後2時より
2. 場 所:東京ビッグサイト レセプションホール A/B  
東京都江東区有明 3-11-1

### 3. 予定議案

- 報告事項 1. 2013年度活動報告  
2. 2013年度決算書類ならびに監査報告
- 決議事項 第1号議案: 会則一部変更の件  
第2号議案: 会長選任の件  
第3号議案: 幹事会員選任の件  
第4号議案: 2013年度の決算承認の件  
第5号議案: 2014年度活動方針承認の件

### 4. 議決権行使についてのご案内

総会への出席、欠席いずれの場合でも、別紙の議決権行使書に社名、代表者名をご記入の上、メールで送信くださいますようお願い申し上げます。

また、お手数ですがご出席可能な場合、議決権行使書と合わせて出欠確認票に代表者、随行者をご記入の上、5月13日(火)までにメールでご連絡いただきますようお願い申し上げます。

### 5. お問合せ先:

チャデモ協議会 事務局 丸田・神田  
230-8510 横浜市鶴見区江ヶ崎町 4-1  
東京電力株式会社 技術開発センター内  
E-mail: info@chademo.com  
Tel: 045-633-4532



以上

## 総会 ホール A

- 13:00 受付開始
- 14:00 開会・会長挨拶  
事業報告および 2014 年度活動計画 (CHAdeMO 事務局 多田 栄治)  
監査報告 (税理士 野口 浩)  
議案審議 (議長 志賀会長)  
新任幹事挨拶
- 14:30 CHAdeMO 総会セミナー
- 1) V2H ガイドラインと WG の活動について  
V2H WG リーダー 今津 知也(日産自動車)
  - 2) 自動車 4 社充電インフラ普及支援プロジェクトについて  
プロジェクト代表: 木野 耕(三菱自動車)
  - 3) 欧州の標準規格とチャデモ欧州事務局の活動について  
欧州事務局 ブレッシュ山辺 知子
  - 4) 欧州初の CHAdeMO 検定実施について  
Mr. Klaus Kersting (Applus IDIADA Product Manager EV/HEV, Powertrain)
  - 5) DC 充電規格国際標準発行記念パネルセッション  
IEC 標準の体系と CHAdeMO 方式の特長について  
IEC61851-23 灰田 武史(東京電力)  
IEC61851-24 松永 康郎(日産自動車)  
IEC62196-3 小園 誠二(矢崎部品)  
モデレータ: 丸田 理(CHAdeMO 事務局)
- 15:45 ~ 16:00 休憩

## レセプション ホール B

- 16:00 幹事代表挨拶 乾杯
- 16:10 ~ 17:30 展示会・懇親会
- 17:30 閉会の挨拶

## 総会参考資料

### 第1号議案：会則一部改定の件

項目	現状	改定
第2条	第2条 本会は、主たる事務所を神奈川県横浜市に置く。 2 本会は、幹事会の議決を得て、必要な地に支部を置くことができる。	第2条 本会は、主たる事務所を東京都港区に置く。 2 本会は、欧州支部をパリに置く。 3 本会は、幹事会の議決を得て、必要な地に支部を置くことができる。
第9条	2. チャデモ・プロトコルの国際標準化の推進と、関連する技術の国際的な普及	2. チャデモ・プロトコルを使用した充放電技術の国際標準化の推進と、関連する技術の国際的な普及
第46条	第46条 本会に、事務を処理するため、事務局を置く。 2 事務局業務は、東京電力株式会社に付託する。	第46条 本会に、事務を処理するため、事務局を置く。 2 事務局には、事務局長および所要の職員を置く。 3 事務局長および職員の選任および解任は幹事会の決議により行なう。
別紙2	(5 ページをご参照ください)	(6 ページをご参照ください)

### 第2号議案：会長選任の件

会長候補者 志賀 俊之(日産自動車株式会社 副会長)(再任)

### 第3号議案：幹事会員選任の件

新幹事会員候補は次のとおりです。

富士電機株式会社  
株式会社日立製作所  
本田技研工業株式会社

### 第4号議案：2013年度の決算承認の件

2013年度の収支は別紙1 監査報告書のとおりです。

## 第5号議案：2014年度活動方針承認の件

2013年度は国際標準化、海外会員への情報発信強化、検定制度の整備の3つを重点課題として取り組んでまいりました。それぞれの課題は、IEC 61851-23, -24の発行、海外でのWG活動開始、第3者検定機関の登録という形でひとつの区切りが達成されました。

2014年度は体制が整った検定制度の着実な実施およびV2H(Vehicle to Home)をはじめとする機能拡張実現に向けて以下の2つを重点課題とします。

- ① 第3者検定機関による検定制度運用を着実に進めます。  
検定機関を中心とする検定WGを設置し、確実な品質確保と効率的な制度運用を進めます。
- ② 充放電ほか機能拡張の実現を推進します。  
再生可能エネルギーの導入が世界各地で進む中、EVの新たな価値創造につながる機能拡張を推進します。前年度のV2Hガイドライン発行に続き検定仕様の策定・制度の運用体制を構築するとともに、関係諸団体とも協調システムの高度化を目指していきます。

## チャデモ・プロトコル認証手続きについて

### 1. チャデモ・プロトコル認証の手順

- Step 1 チャデモ協議会が定める仕様（以下「チャデモ・プロトコル」）に則った製品を開発し、チャデモ・プロトコル認証を申請する会員（以下「申請者」）は、チャデモ・プロトコル認証試験規格（仮称）に基づき認証試験を実施します。
- Step 2 試験に合格した後、申請者は、チャデモ・プロトコル認証申請書に試験規約の試験結果報告要領に従った試験結果報告記録を添えてチャデモ協議会事務局に提出します。
- Step 3 チャデモ協議会は申請書及び試験結果報告記録の内容を審査し、チャデモ・プロトコルへの適合を確認の上当該製品に認証書を発行します。

### 2. チャデモ・プロトコル認証試験について

- ・本認証試験規格は、技術部会で作成します。
  - ・本認証試験規格が正式発効されるまでの間は、チャデモ協議会が指定する認証機関でチャデモ・プロトコル準拠の実機又は実機相当のシミュレータによる接続試験と測定器による検査の合否を基準に行います。認証試験に先立ち、認証機関より事前試験の実施とその結果報告が求められることがあります。認証機関による認証試験及び結果通知は、認証機関により別途発行します。
- ※2010年3月現在の認証機関は、以下のとおりです。

#### 1) 東京電力株式会社

- ※認証機関は本認証試験を履行して実施記録と計測結果の提出及び規格適合性の合否の判定を行う機関です。規定の試験項目以外の試験、不具合対策、改善及び研究等の為の追実験や解析業務等を行いません。
- ※別途合意がない限り、本認証試験に要する一切の費用は、申請者が負担するものとします。また、本認証試験の実施にあたり、充電器、実車、シミュレータに不具合等が生じた場合は、申請者が責任を負い、生じた損害を賠償するものとします。

### 3. 免責事項

認証は、供試された製品サンプルのチャデモ・プロトコルへの適合性を判断検査するもので、各メーカー固有の周辺仕様による影響或いは機器固有の設置環境等、今後発生しうる全ての問題を保証するものではありません。

なお、チャデモ協議会では、各メーカーの機器間の接続実績情報を随時発信していく予定です。

認証を受けた製品の製造・販売は、申請者の責任において行われるべきものであり、製品事故その他により発生する損害・費用をチャデモ協議会並びに認証機関が補償するものではありません。

以上

## チャデモ・プロトコル認証手続きについて

### 1. チャデモ・プロトコル認証の手順

- Step 1 チャデモ協議会が定める仕様(以下「チャデモ・プロトコル」)に則った製品を開発し、チャデモ・プロトコル認証を申請する会員(以下「申請者」)は、電気自動車用急速充電スタンド検定書(以下「検定書」)に基づきチャデモ協議会が指定する認証機関において認証試験を実施します。
- Step 2 試験実施後、認証機関は、チャデモ・プロトコル認証申請書に検定書の試験結果報告記録を添えてチャデモ協議会事務局に提出します。
- Step 3 チャデモ協議会は申請書及び試験結果報告の内容を審査し、チャデモ・プロトコルへの適合を確認の上当該製品に認証書を発行します。

### 2. チャデモ・プロトコル認証試験について

- ・本認証試験規格は技術部会で作成し、正会員向けに Web サイトで公開します。
- ・本認証試験は、チャデモ協議会が指定する認証機関でチャデモ・プロトコル準拠の実機又は実機相当のシミュレータによる接続試験と測定器による検査の可否を基準に行います。認証試験に先立ち、認証機関より事前試験の実施とその結果報告が求められることがあります。認証機関による認証試験及び結果通知は、認証機関により別途発行します。
- ・チャデモ協議会が指定する認証機関は、Web サイトで公開します。

※認証機関は本認証試験を履行して実施記録と計測結果の提出及び規格適合性の可否の判定を行う機関です。規定の試験項目以外の試験、不具合対策、改善及び研究等の為の追実験や解析業務等を行いません。

※別途合意がない限り、本認証試験に要する一切の費用は、申請者が負担するものとします。また、本認証試験の実施にあたり、充電器、実車、シミュレータに不具合等が生じた場合は、申請者が責任を負い、生じた損害を賠償するものとします。

### 3. 免責事項

認証は、供試された製品サンプルのチャデモ・プロトコルへの適合性を判断検査するもので、各メーカー固有の周辺仕様による影響或いは機器固有の設置環境等、今後発生しうる全ての問題を保証するものではありません。

認証を受けた製品の製造・販売は、申請者の責任において行われるべきものであり、製品事故その他により発生する損害・費用をチャデモ協議会並びに認証機関が補償するものではありません。

以上

## 監査報告書

チャデモ協議会  
会長 志賀 俊之 殿

琉球大学准教授・税理士  
野口 浩

第4事業年度(2013年4月1日から2014年3月31日まで)の貸借対照表, 損益計算書, 経費内訳を監査した結果, 適法に処理, 記載されていると認める。

## 貸借対照表

チャデモ協議会

平成26年3月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
【流動資産】	48,100,450	【流動負債】	6,157,750
現金及び預金	37,831,400	未払費用	3,976,750
未収入金	10,269,050	未払法人税等	81,000
		前受金	2,100,000
		負債の部計	6,157,750
【固定資産】	15,300,924	純資産の部	
(有形固定資産)	15,300,924	【株主資本】	57,243,624
機械装置	15,300,924	[利益剰余金]	57,243,624
		(その他利益剰余金)	57,243,624
		繰越利益剰余金	57,243,624
		純資産の部計	57,243,624
資産の部計	63,401,374	負債・純資産の部計	63,401,374

損益計算書

チャデモ協議会

自 平成25年4月1日  
至 平成26年3月31日

科目	金額	
		円
【売上高】		79,950,000
売上総利益		79,950,000
【販売費及び一般管理費】		79,168,876
営業利益		781,124
【営業外損益】		
受取利息	10,205	
その他営業外収益	82,251	92,456
その他営業外費用	123,750	123,750
経常利益		749,830
【特別損失】		
会費徴収不能額		22,650,000
税引前当期純損失		-21,900,170
法人税等		81,000
当期純損失		-21,981,170

販売費・一般管理費

チャデモ協議会

自 平成25年4月1日  
至 平成26年3月31日

科目	金額	
		円
広告宣伝費	1,062,780	
運賃	17,450	
外注費	56,559,847	
事務用消耗品費	792,936	
消耗品費	27,720	
賃借料	4,322,880	
支払保険料	21,300	
修繕費	119,490	
租税公課	4,803	
接待交際費	78,525	
旅費交通費	2,767,847	
通信費	484,297	
支払手数料	2,733,450	
会議費	3,031,910	
図書教育費	93,243	
減価償却費	6,971,161	
雑費	79,237	
販売費及び一般管理費		79,168,876



【収益事業決算書】

貸借対照表

チャデモ協議会

平成26年3月31日現在

収益事業

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
【流動資産】	29,048	【流動負債】	81,000
現金及び預金		未払法人税等	81,000
他会計貸付金	29,048		
【固定資産】	-	負債の部計	81,000
(有形固定資産)	-	純資産の部	
機械装置		【株主資本】	-51,952
		[利益剰余金]	-51,952
		(その他利益剰余金)	-51,952
		繰越利益剰余金	-51,952
		純資産の部計	-51,952
資産の部計	29,048	負債・純資産の部計	29,048

損益計算書

チャデモ協議会

自 平成25年4月1日  
至 平成26年3月31日

収益事業

科目	金額
	円
【売上高】	29,048
売上総利益	29,048
【販売費及び一般管理費】	
営業利益	29,048
【営業外収益】	
受取利息	
その他営業外収益	0
【営業外費用】	
その他営業外費用	0
経常利益	29,048
税引前当期純利益	29,048
法人税等	81,000
当期純利益	-51,952

## 2013 年度収支報告・2014 年度予算案

単位 [千円]

		2013年度 予算	2013年度 実績	2014年度 予算案	備考
収入	前期繰越金	35,869	35,869	37,831	
	会費収入	65,000	73,619	70,000	
	その他の収入		121	100	JIS著作権料ほか
支出	事務局人件費	13,000	11,536	12,000	派遣社員契約
	委託費 (欧州事務所)	27,000	27,997	28,000	欧州事務局委託(2013年度より2名体制, 2014も継続の予定)
	委託費 (国際標準化)	12,500	10,175	6,000	TC69 ComplianceWG, MTのリーダー, IEEE WGへの参加を委託
	委託費(その他)	2,000	1,157	6,000	2013下期～納税処理の費用増 2014年度: IEEE委託費 ¥4,000
	出張旅費	4,000	3,253	3,000	会議出席, 検定移管作業
	検定システム	5,000	289	2,000	1.0検定システムおよびV2H検定システム の開発・維持
	会議費 (総会・部会・WG 開催費用)	5,000	4,041	4,000	うち2013年度総会開催経費: 3,011
	広報活動費	3,000	1,371	2,000	2013年度: 日経スマートシティ 750 スーパーセブン協賛 500
	欧州CHAdemo活動 経費	5,000	5,451	5,000	欧州会議開催, 展示会出展ほか
	北米・アジア活動 経費	2,000	0	1,000	
	借室料	4,000	4,488	4,500	
	雑費	2,000	2,020	2,000	通信費, 消耗品, 手数料
支出計		84,500	71,778	75,500	
期末繰越		16,369	37,831	32,431	

## レセプション会場 展示一覧

会員名	展示品	概要
デンゲン	(1)パネル (2)DEV-10KW	DEV-10KWは日本で初めて移動型としてチャデモ認証を取得。移動型ならではの広範な可動範囲を実現し、また導入・維持費が安いのが特長。加えて内蔵プリンターでの充電データの印刷もでき、専用ソフトでデータの閲覧も可能。
長谷川電機工業	(1)直流地絡検出器/RNC-500A (2)電気自動車用検電チェッカー /HEV-750D	(1)幅広い電圧に対応した直流用漏電検出器です。チャデモ規格に対応した仕様品もあります。コストダウンを目的にマイナーチェンジを致しました。 (2)EVやPHVなど動力用の高電圧バッテリーを搭載している車両用の検電チェッカー。車両整備時や事故車両取扱い時に本製品を使用して電圧の有無をチェックし感電防止に役立てる。
日本航空電子	急速充電用コネクタケーブル(当社名:KWシリーズ)及び説明パネル急速充電コネクタ	当社コネクタは軽量で柔軟なケーブルによる取り回し性のよさでユーザー様のご評価をいただいておりますが、今後チャデモ方式充電器の普及が加速する海外市場に向けUL認証に続いてCEマーキングにも対応しましたのでご紹介いたします。
住友電工	パネル2枚及び対象サンプル	CHAdeMO仕様急速充電器用コネクタ付ケーブル及びV2H仕様コネクタ付ケーブル
大電	CHAdeMO仕様急速充電器用コネクタ付ケーブル及びV2H仕様コネクタ付ケーブル	・CHAdeMO 1.0用コネクタ性能基準に適合しています。 ・スリッポン接続・ワンタッチ解除方式により、車両への着脱が簡単にできます。 ・EV充電ケーブル用として開発した高柔軟性ケーブルの採用により、ケーブルの引き回しが楽にできます。
矢崎総業	充電器のモック品	ユーザビリティを追求したワンタッチ式急速充電コネクタを展示致します。スタンドモックアップで操作性を体感頂けます。
ベクター・ジャパン	CANoe, VTシステム	CANoeとVTシステムはCANとアナログデジタル信号を使用したシステムの自動テスト環境を御提供します。チャデモ充電器用検定器にも採用され、それと同じ環境をチャデモ会員の皆様にも御利用いただけます。
アイケイエス	IDENCON商品パネル(A0サイズ)	IDENCONはEVへ充放電が可能な複合PCS装置です。1台のPCSで系統、太陽光発電や蓄電池からの電力も利用することができます。災害時には、大容量蓄電池を搭載したEVで、電力輸送することが可能となり、安定した電力を供給することが可能です。
内外電機	(1)A2サイズパネル×3枚 (2)リーフレット	(1)①エレナージ・タッチリンク:カード認証タイプ ②エレナージ・コインリンク:利用料金を現金決済タイプ ③エレナージ・ライト:普通充電のスタンダード、壁掛廉価版 (2)ev普通充電関連製品:Mode3からコンセントタイプまでのev充電器
古河電工	(1)「急速充電コネクタ付ケーブル」 (2)「V2Hコネクタ付ケーブル」	・CHAdeMO1.0準拠の急速コネクタ ・V2Hコネクタ付ケーブル
テュフ ラインランド	(1)ポスター (2)サービスパンフレット、会社案内	当社は、CHAdeMO検定機関として、急速充電器の評価・試験・検定を行っています。また、急速充電器用のコネクタやバッテリーを含む電気自動車技術全般についても試験・評価・認証サービスを行なっています。ポスター展示とともにサービスパンフレットをご提供します。
IDIADA	パネル	IDIADA社は欧州最初のCHAdeMO認証機関です。独自開発したEV充電シミュレーターを用いて、自社の施設内で試験が可能です。このEVシミュレーターは、CHAdeMO急速充電器の仕様に応じて140項目の安全動作確認試験を3時間で行うことができます。
e・オータマ	(1)パネル(A1サイズ)2枚程度 (2)会社案内、リーフレット数種	当社では、大型のEV用充電器のEMC試験を実施可能です。CHAdeMO規格であるJIS TS D 007にも対応しております。
UL Japan	パネル、パンフレット	○既存の北米認証、欧州向け評価にCHAdeMO検定が加わり、より充実したEV関連サービスの紹介。 ○EVに関連付けられる、バッテリー評価についても紹介。 ○自社製品評価にもお使いいただける評価機器やラボの紹介。
双信電機	ノイズフィルタ(三相単相DC用) リアクトルコア、コンデンサ サージアブソーバ、ノイズ測定	双信電機は、環境・新エネルギー分野に注力しており、電気自動車用及び急速充電器用ノイズフィルタを各種取り揃えております。 ノイズ測定については国内4拠点及び中国シンセンにオンサイト拠点を追加し、日本国内及び中国におけるノイズ測定、診断、対策をサポートしております。また、電波暗室の電源容量を72kVAまでUPに伴い、電波暗室での試験も可能になりました。

### カタログ・パンフレット配布

イータス、富士電機

\* 引き続き展示申し込みを受けつけております。